

認定看護師シター

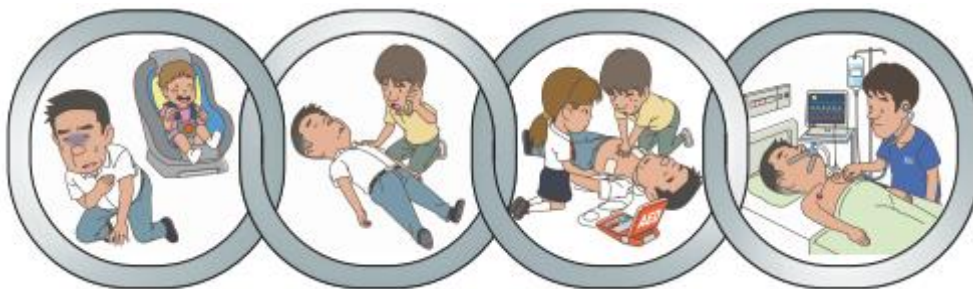


2016年12月発行 Vol.39

担当: 救急看護認定看護師 具志陽宏

「救命の連鎖」

心停止や窒息という生命の危機的状況の傷病者を救命し、社会復帰に導くための一連の行いを「救命の連鎖」といいます。一つずつの輪が繋がることで、効果的な救命活動が可能となります。それぞれの行いがとても重要ですが、特に3つ目の輪まではみなさんに確実に実践して頂きたいので、ご紹介します。



<救急蘇生法の指針2015より抜粋>

①	心停止の予防	小児であれば、交通事故や窒息、溺水といった不慮の事故を防ぐことが重要。成人では、基礎疾患に対する治療(外来通院・内服)や生活習慣の改善を図る。
②	早期認識と通報	突然倒れた人や反応のない人を見たら、ただちに心停止を疑うことから始まる。心停止の可能性を認識したら、大声で応援を呼び119番通報を行う。
③	一次救命処置(BLS)とAED	呼吸と循環をサポートする一連の処置。胸骨圧迫と人工呼吸による心肺蘇生とAEDの使用が含まれる。
④	二次救命処置と心拍再開後の集中治療	BLSと同時に、薬剤や医療機器を用いて実施するもの。心拍再開後は集中治療を行うことで社会復帰の可能性を高める。

<当院での活動と今後の課題>

現在、主な活動として急変時対応シミュレーション、急変時の振り返りを行っています。急変時対応シミュレーションは、病室を使用し実際の急変を想定したシミュレーションを行っています(右写真)。また急変時の振り返りについては、まず急変時に必要な情報が記載できるように、共通の記録用紙を作成し、救急カートに設置しました。そして、記録用紙と看護記録から実際の対応や急変前の患者の状態変化等について建設的なディスカッションを行っています。今後は、各病棟のシミュレーション企画へ積極的に参画し、更なる質の向上に寄与していきたいと考えています。また、院外施設でのBLSや急変時シミュレーションの研修も行いますのでご相談下さい。(お問い合わせ先:看護部)



認定看護師フェアを開催しました(10月24日~28日、11月24日)

期間中、認定看護師の紹介や活動状況について、当院1階フロアにポスター展示

10月24・25日: 院内の医療従事者を対象に、各認定看護師がパネル展示や体験型のブースを設置し活動紹介をしました

10月27日: 1階外来フロアで患者さんや来訪者を対象に体験や相談コーナーを設置しました

11月24日: 訪問看護ステーションや介護施設の医療従事者を対象にBLSの体験型の研修会を開催しました

多くの方のご参加を頂き、ありがとうございました

